

なんて。

「ん、あのお爺ちやの言ごどは何でも聞いてやるわい、何だよお、言ってみせえ」

「猿んどこさ嫁さ行つてくんにえがあ。つうのは今日田さ水かげしたら、まあ水かがんねぐつてしようがねえがらあ、おれの家の三人いる娘の内一人猿さ嫁さくれつから、あの田さ水かげでくろつたら、水かげでもらつて、今度嫁さくれんなんね約束しつちまつただげんじよ、なじよだまあ嫁さ行つてくんにえがまあ、猿んどこさ」

なんて。

「やんだおら」

なんて、座敷出でつちまつただど。

「ああ、やつぱしやんだべなあ」

なんて、お爺ちや一人でまだがっかりして寝つただど。したら二番目の娘が来ただど。

「お爺ちやあ、飯食わつしえよお」